

平成 30 年 5 月 31 日

女子体操競技情報 27 号

(公財) 日 本 体 操 協 会
東京オリンピック強化委員会
女子体操競技強化本部
審判委員会体操競技女子審判本部

2018 年 1 月 23 日付で国際体操連盟より採点規則のヘルプデスク（2017 年版）が配信され、採点規則 2017 年の補足説明ならびに修正が通知されました。このことを受け、強化本部との協議の上、これまで国内で伝達している内容から変更になった部分、追加された内容のみを国内通達することとなりました。ヘルプデスク日本語版のご購入については、当協会事務局を通じてお申込みください。

なお、通達内容は、日本国内では 2018 年 8 月 1 日より適用いたします。関係各位への周知をお願いいたします。

【採点規則2017年版の修正、追加】 FIG HELP DESK Edition6より

平均台：12.5 芸術性と構成の減点

-不十分な平均台の使用：

- 「胴の一部が台に接する、平均台に近い動き／技の組み合わせがない」 -0.10

- 少なくとも身体（胴または大腿部、頭、膝）の2パーツが台に接していなければならないが、「台をまたいだ座（縦向き）」と「大腿部で座る」は異なるパーツとは判断されないため、座の姿勢から頭、胴体（腹部や背中）、膝が台に接した動きをしなければならない。

平均台／ゆか：片足上でのターンの組み合わせ

組み合わせが承認されるためには、2つ目の技の実施の前にドゥミプリエ（膝をわずかに曲げた準備動作）をしてはならない。

- この原則は、ダンス系の組み合わせ、ダンス系とアクロバット系の混合の組み合わせどちらにも適用される。ただし、2つ目の技がターンである場合、支持脚が曲がったまま（ドゥミプリエのまま）ターンを実施しても、その組み合わせは承認される。膝の曲げ伸ばしからの実施は組み合わせとしては認められない。

平均台：伸身宙返りにおける伸身姿勢の承認のためのガイドライン

- 宙返りの最後まで伸身姿勢であることが望ましい。垂直からおおよそ45度（目安）までは伸身姿勢でそのあと着台準備に入っても良い。もし、それより前に屈身姿勢が見えた場合は屈身宙返りとなる。




注：開始技（1.618）、台上の宙返り（5.512）どちらにも適用される。

平均台 2.208



2.408



- もし、片足着台の場合、常に **2.208** 輪とび(ジャンプ)  として承認する。
- 着台が両足で前脚が45°までの場合、**2.208** 輪とび(ジャンプ)  として承認をする。
- 両足着台で、前脚が45°より上にある場合は、**2.408** 前後開脚とびから輪  と承認し、身体の姿勢の減点を適用する。

ゆか：13.6 種目特有な実施減点(E 審判団)

- 技の配分

- アクロラインの後、間に振り付けがなく同じ対角線上で続けてアクロラインを実施する -0.10

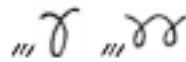
➤ アクロラインの後に振り付けがあっても、最初のアクロラインと同じ方向に振り付けを続けた場合、十分とはみなされず減点となる。

選手は1本目のアクロラインの反対方向または側面の方向へ、明確な振り付けを（短い時間でも）示さなければならない。

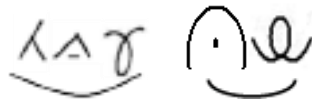
ゆか：アクロラインは1つの宙返りを含む少なくとも2つの空中局面を伴う技の直接の組み合わせからなる。

➤ アクロラインとみなされない

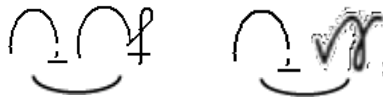
- ✓ 1回宙返りまたは2回宙返り



- ✓ アクロバット系の技が直接組み合わせられていない場合や、どちらの技も空中局面を伴う技ではない場合



- ✓ 片足踏み切りの宙返り



- ✓ 宙返りのない組み合わせ



以上